

かねま かすみ
兼間 和美 KANEMA Kazumi

生活科学部 児童学科 講師
 E-mail : kanema-k@shikoku-u.ac.jp
 TEL : 088-665-9793



PROFILE 研究者略歴	DATA 主な業績
<p>■生年月 1956年11月</p> <p>■学歴 徳島県立保育専門学院卒業(1977.3) 四国大学大学院人間生活科学研究科人間生活科学専攻(修士課程)修了(2014.3)</p> <p>■主な職歴 徳島市立不動保育所保育士(1979.4) 徳島市立内町保育所主任(1997.4) 徳島市立北島田保育所主任主査(2001.4) 徳島市立八万東保育所副所長(2011.4) 四国大学生活科学部児童学科講師(2012.4～現在に至る)</p> <p>■専門分野 乳幼児教育・保育学</p> <p>■現在の研究 ・改定(平成30年4月)幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の基礎知識と授業内容の構築 ・保育の専門性と感情労働の関係性について ・子どもの表現活動としての絵画、絵から子どもの心情を探る ・赤ちゃん学とは ・乳児・低年齢児保育の重要性について</p> <p>■所属学会 日本保育学会、発達心理学会、日本乳幼児教育学会、日本保育者養成教育学会、赤ちゃん学会</p> <p>■担当授業科目 [学部] 保育内容総合、保育実習指導Ⅰ、保育実習Ⅰ、保育実習指導Ⅱ、保育実習Ⅱ、保育内容研究・表現Ⅱ(造形表現)、保育実践演習、卒業研究、卒業研究演習、キャリア形成入門</p>	<p>■出張授業 1) 幼稚園教諭、保育士、認定こども園の保育教諭、福祉施設の保育士の仕事 2) 知ってほしい就学前教育(乳幼児教育)で大切なこと 3) 保育教諭になるために</p> <p>■主な学会及び社会活動等 学会 発達心理学会ラウンドテーブル「保育者の成長と実践コミュニティ」—保育者の同僚性と感情労働に着目して—(2015.3) 保育学会自主シンポジウム「保育における感情労働と保育者養成?」—他者とのかわり場面における感情に焦点を当てて—(2017.5)</p> <p>社会活動等 1) 全国創造美育協会会員徳島創造美育協会主催「幼児画展」運営委員(1998～現在に至る) 2) 全国社会福祉協議会保育スーパーバイザー認定者(2007～現在に至る) 3) 徳島県就学前人権教育研究大会運営委員及び講師(2014～現在に至る) 4) 徳島県教育委員会学校教育課幼児教育スーパーバイザー(2016～現在に至る) 5) 徳島県教育委員会生涯学習課家庭教育推進委員会委員(2016～現在に至る)</p> <p>■主な受賞歴 徳島県保育事業連合会表彰(2001.6)</p> <p>■主な研究論文・著書等 1) 「主任保育士に求められる保護者対応の専門性」—家庭支援推進保育士の活動を通して—(単著、2006.5、全国社会福祉協議会 主任特別講座修了論文) 2) 「預かり保育と学童保育の連携実施の可能性と検討課題」～幼小放課後保育の目的・場・集団を考える～(共著『エデュケア(幼児教育学研究)』2013 大阪教育大学幼児教育学研究所) 3) 実践保育内容シリーズ3『環境』第6章「0～2歳児の発達を促す環境遊び①」～春・夏の遊び～第7章「0～2歳児の発達を促す環境遊び②」～秋・冬の遊び(共著、2015.4、一藝社) 4) 「質の高い保育の専門性を育てるための教育内容の現状と課題」—保育学生の保育実習自己評価から教育内容を探る—(単著、2016.6、『四国大学全学共通教育センター年報』第2号) 5) コンパクト版保育者養成シリーズ『保育内容総論』第10章「乳児、低年齢児の保育内容」(共著、2017.2、一藝社)</p>